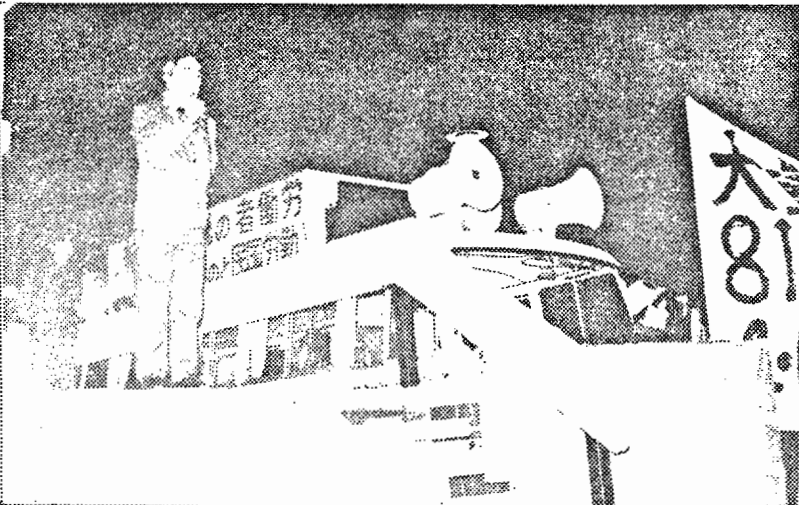


決意表明

秋山差別労政に一泡ふかせる

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

**動労千葉の発展のため
みなさんの最先頭で闘う**
執行委員 山口敏雄



全組合員、家族のみなさん、日頃の御健闘に心からの敬意を表します。

四人の解雇者のうちの一人であります山口です。こんかいの大量政治的不当処分への怒りが、四六局前総決起集会五一〇名の大結集によつて明らかになつたと考えます。その意味でこんかいの不当にもわれわれの闘いに対して、二五五名もの大量政治的不当処分をしたという事は、政府、国鉄当局秋山反動局長はおそらく大きなヤケドをするのではないかと考えます。

4.6 不当処分粉碎・81春闘勝利・局前総決起集会で決意表明に立つ
山口交歩部長

わたくしは、不当にも公労法解雇処分を受けたわけでありましたがこれはわたくし個人への攻撃であると同時に動労千葉千三百組合の組織へかけられたものとして受けとめ、三里塚労農連帯、国鉄三五万人体制攻撃粉碎を軸にした路線を堅持し徹底して闘い抜く決意であります。

もつて、三月ジェット決戦ストライキを闘い抜いたこの力を大きく大きく育て、そして、この大量政治的不当処分攻撃をはねかえし、ましよう。この闘いにかちぬくとをもつて秋山差別労政と動労本部」スト破り集団に一泡ふかせてやりましょう。

そういう意をこめてわたくしは動労千葉の発展と組織強化のためみなさんと共に、みなさんの最先頭にたつて闘うことを明らかにします。

反動と対決する労働運動の構築めざす

執行委員 西森 巖

今回の処分攻撃の内容は、過去十年全く例のない重い処分であり政治的処分であります。

これは、われわれの闘いが、権力・国鉄当局をも含めて非常に衝撃的であつたといふことの裏返し

813決戦決起を決定した中四回(潮来・80年11月)大会で報告する西森(当時副委員長、東部員、分科会長)

この三月ジェットストライキ決戦を闘うにあつて動労千葉の方針は、真の労農連帯の確立、右傾化する日本労働運動の打開、秋山差別労政の打倒であつたわけですが、敵、権力の側は、日本労働運動総体をほゞ体制内化することに成功し、産報化への道をひた走つてい

現在の現在、動労千葉のような組織は絶対認めることはできないしあらゆる手段を駆使して動労千葉をつぶそうとして仕かけてきた攻

従つて、労働者としてあたりまえの闘いを闘い抜いたが故に発動された今回の解雇処分攻撃の該当者として「本懐」だと考えています。

そもそも、この闘いを闘い抜くに当つて、当初からこれ位の処分攻撃は当然なされてくると判断し取組んできたのだし、この攻撃によつて動労千葉の組織がより一層強固な組織になるものと確信しています。



第4回定期大会

そうであるが故に私は、反動・鈴木内閣の軍事大国化一徴兵制II改憲策動を押し進めている反動路線と真向から対決し抜く労働運動の構築を目指し、その最先頭で闘い抜く決意であります。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!